

内科学講座 呼吸器アレルギー膠原病内科分野

I. 研究者の内訳 (平成25年5月1日現在)

1. 職員

教授	山内 広平					
准教授	小林 仁					
講師	中村 豊	鈴木 順				
助教	佐々木 信人	宮本 孝行				
	関村 研之	山下 雅大				
	森川 直人	長島 広相				
	齋藤 小豊	古和田 浩子				
	秋山 真親	内海 裕				
	鈴木 奈緒美	中島 義雄				

教授	特任教授	准教授	特任准教授	講師	特任講師	助教
1名	0名	1名	0名	2名	0名	12名

2. 研究員等

研究員	研究生	研修生
4名	0名	0名

3. 大学院生

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
0名	1名	2名	2名

II. 講座等における主たる研究テーマとその成果

1. COPD (肺気腫) の発症メカニズムに関する研究

わが国における潜在的なCOPD患者は500万人以上と試算されておりWHOの統計では2020年には世界人口全死因においてCOPDが3位になることが予想されている。

COPDの発症原因はタバコ煙など有害粉じん・ガスの吸入が主なものであるが、発症機序については肺胞内のCD8陽性Tリンパ球の活性化、好中球のMMP産生による肺胞破壊が考えられている。さらに肺血管内皮細胞障害による機能不全とそれによる肺胞構築の破壊・気腫化が動物モデルで証明された。我々は肺気腫化に関連する分子を同定するために、マウスのたばこ煙暴露による肺気腫モデルを作成し、暴露群と非暴露群の肺からそれぞれmRNAを抽出、網羅的に発現を比較した。その中でたばこ煙暴露マウスの肺において発現が1/10以下にまで低下しているAmotL1に注目した。AmotL1は、たばこ煙暴露マウスの肺血管内皮細胞の免疫染色においても同様に発現が低

下していた。これまでAmotL1は血管内皮細胞のtight junctionに発現し、血管の発芽に関与するタンパクと報告されている。我々はin vitroにおいてAmotL1のプロモーター部の解析と転写因子の同定を行い、さらにAmotL1の発現と抑制にはCOPD患者の気道において強く発現しているTNF- α とIFN- γ が関与していることを明らかにした。AmotL1は肺気腫化の病態生理解明に重要な意味をもつ分子であると考えられる。

2. 気管支喘息の発症の解明に関する研究 (継続研究)

IL-13の遺伝子変異によって生じる変異型IL-13蛋白を有する喘息患者は気道リモデリングの進行が早く、肺機能の低下が早く進むことが明らかにされた。現在変異型IL-13蛋白が気管支喘息の最も重要な呼吸生理学的特徴である気道過敏性などのような影響を与えるかを解析中である。今後IL-13と関連を有するTSLPやペリオスチンの遺伝子多型と気管支喘息のフェノタイプや呼吸機能との関連を調べる予定である。

3. 肺癌における分子標的治療・免疫療法に関する研究

EGF受容体のチロシンキナーゼ阻害薬の抗腫瘍効果が肺癌の個別化医療に大きな影響を与えた。本年度も引き続き、手術摘出肺腫瘍組織のEGF受容体の塩基配列を解析し、EGF受容体抑制剤の有効性や予後との関連を継続的に調べている。またエクソン19に生じた遺伝子変異によって細胞膜上のEGF受容体の立体コンフォメーションがどう変わるかを解析中である。

4. 膠原病

全身性エリテマトーデス (SLE) は若年者から壮年までに発症する膠原病であり、多彩な臓器病変を呈する。特に中枢神経障害の頻度が高く新規SLE診断患者の25~60%に何らかの神経精神症状が合併することが報告されている。その症状は頭痛、精神症状、けいれん発作、意識障害、脳血管障害症状と多彩である。中枢神経系ループス (Neuropsychiatric Systemic Lupus Erythematosus : NPSLE) の病理所見は微小血管傷害と微小血管梗塞巣である。主な傷害血管サイズは微小動脈や毛細血管であり血管の硝子化、血管周囲のリンパ球浸潤、血管内皮細胞増殖から生じる血管傷害が主体である。臨床的に神経精神症状を呈さない症例でも上記病理所見が認められたことからNPSLEの初期像は微小血管傷害に基づくものと考えられる。神経精神症状が臨床的に認められてもMRIでは30-40%は異常所見が認められないことが報告されている。その原因として初期の病変を従来のMRIでは検出していない可能性が高いと思われる。当大学超磁場MRI診断部門と共同で世界的に数台しか稼働していない超磁場7TeslaMRIを用いて、従来の機種では検出が困難であったNPSLE患者の脳微小血管病変を縦断

的に解析しNPSLE早期脳微小血管病変の検出方法を研究している。

5. 間質性肺炎の組織修復の機序に関する研究

間質性肺炎には幾つかのタイプがあり、ステロイドで改善するものとしめないものがある。しかし、ステロイドの反応性によらずいずれの機序は解明されていない。ブレオマイシンマウスモデルを用いて、その分子細胞学的解析を行っている。

6. 心身症の研究

1) 心身症の診断に関する研究

唾液中のクロモグラニン濃度の測定が、精神疾患における個体に対するストレスの大きさを客観的な指標として非侵襲的に測定する方法を開発した。このクロモグラニン濃度を気管支喘息患者や慢性炎症性腸疾患患者で測定して、疾患病態や重症度とストレスとの関連を明らかにした。

2) パニック症候群における呼吸困難の機序の解明

パニック症候群における呼吸困難の機序の解明が、呼吸中枢の興奮性や末梢化学受容体の興奮の面から進んでいる。

III. 研究成果の発表状況 (平成 25 年 1 月～平成 26 年 3 月まで)

①-1 学術論文 [英文]

a) 原著

1. Nakamura Y, Suzuki N, Nakajima Y, Utsumi Y, Murata O, Nagashima H, Saito H, Sasaki N, Fujimura I, Ogino Y, Kato K, Terayama Y, Miyamoto S, Yarita K, Kamei K, Nakadate T, Endo S, Shibuya K, Yamauchi K. *Scedosporium aurantiacum* brain abscess after near-drowning in a survivor of a tsunami in Japan. *Respiratory Investigation*. 51:207-211 (2013)
2. Yamashita M, Mouri T, Niisato M, Kowata K, Kobayashi H, Chiba R, Satoh T, Sugai T, Sawai T, Takahashi T, Yamauchi K.: Heterogeneous characteristics of lymphatic microvasculatures associated with pulmonary sarcoid granulomas. *Annals of the American Thoracic Society*. 10(2) : 90-97 (2013)
3. Utsumi Y, Sasaki N, Nagashima H, Suzuki N, Nakamura Y, Yamashita M, Kobayashi H, Yamauchi K. Association of IL-13 gene polymorphisms with airway hyperresponsiveness in a Japanese adult asthmatic population. *Respiratory Investigation*. 51:147-152 (2013)
4. Nakajima Y, Nakamura Y, Shigeeda W, Tomoyasu M, Deguchi

H, Tanita T, Yamauchi K.: The Role of Tumor Necrosis Factor - α and Interferon- γ in Regulating Angiotensin - Like Protein 1 Expression in Lung Microvascular Endothelial Cells. *Allergology International*. 62(3): 309-322 (2013)

5. Suzuki N, Sasaki N, Niisato M, Utsumi Y, Nakajima Y, Yamashita M, Nakamura Y, Kobayashi H, Sawai T, Yamauchi K Effects of imatinib mesylate on pulmonary allergic vasculitis in murine model. *International Journal of Rheumatic Diseases*, 2013;16:455-62.
6. Okamoto T, Miyazaki Y, Ogura T, Chida K, Kohno N, Kohno S, Taniguchi H, Akagawa S, Mochizuki Y, Yamauchi K, Takahashi H, Johkoh T, Homma S, Kishi K, Ikushima S, Konno S, Mishima M, Ohta K, Nishioka Y, Yoshimura N, Munakata M, Watanabe K, Miyashita Y, Inase N. A nationwide epidemiological survey of chronic hypersensitivity pneumonitis in Japan. *Respir Invest* 2013 ;51(3):191-9.
7. Niimi A, Ohbayashi H, Sagara H, Yamauchi K, Akiyama K, Takahashi K, Inoue H, Wakayama T, Kobayashi H, Hasegawa M, Kimura G, Yokoe T, Adachi M.: Cough variant and cough-predominant asthma are major causes of persistent cough: a multicenter study in Japan. *Journal of Asthma*. 50(9):932-937 (2013)
8. Matsubara N, Maemondo M, Inoue A, Ishimoto O, Watanabe K, Sakakibara T, Fukuhara T, Morikawa N, Tanaka M, Sugawara S, Nukiwa T.: A phase II study of irinotecan as a third-or fourth-line treatment for advanced non-small cell lung cancer : NJLCG0703. *Respiratory Investigation*. 51(1) : 28-34 (2013)
9. Moriguchi S, Utsumi Y, Sasaki N, Nakamura Y, Kobayashi H. Association of thymic stromal lymphopoietin gene polymorphisms with atopic status and pulmonary function in a Japanese adult asthmatic population. *Journal of Iwate Medical Association*. 66(2):47-55 (2014)
10. Koizumi R, Sasaki N, Nakamura Y, Suzuki N, Sawai T, Yamauchi K. Rapamycin attenuates pulmonary allergic vasculitis in murine model by reducing TGF- β production in the lung. *Allergology International*. 63(3):457-466 (2014)

b) 総論

1. Nakamura Y. Developmental Current and Future Therapy for

Severe Asthma. Inflammation & Allergy-Drug Targets.
12:54-60 (2013)

- c) 症例報告
- d) その他

①-2 学術論文 [和文]

a) 原著

1. 長島広相, 小泉瑠美, 守口知, 宮本伸也, 山内広平. 東日本大震災後に悪化した呼吸器疾患. 呼吸器内科. 23(5): 521-526 (2013)
2. 鈴木順, 千葉太郎, 星野健, 齋藤小豊, 加藤明子, 水野紹夫, 板倉康太郎, 齋藤恵子, 平野繁, 千田恵美, 石川浩二, 村上典子. 岩手県医師会高田診療所における心療内科外来の現状 日本心療内科学会災害支援プロジェクトとしての報告. ストレス科学. 27(4): 364-372(2013)
3. 山内広平. 第41回内科学の展望 東日本大震災から学ぶ内科学 3. 東日本大震災から学ぶ内科疾患～特徴、対応、予防～(2)呼吸器疾患. 日本内科学会雑誌. 103(3):551-556 (2014)

b) 総論

1. 山内広平. 高齢者気管支喘息の治療戦略. 臨床免疫・アレルギー科. 60(1): 67-71(2013)
2. 山内広平. 呼吸器疾患の新しい治療法. 岩手医学雑誌. 64(6): 447-453 (2013)
3. 山内広平, 守口知, 小泉瑠美. COPDと気管支喘息における炎症および閉塞病態. カレントセラピー. 31(5):489-493 (2013)
4. 中村豊, 守口知: 気道リモデリングに関する遺伝子. 喘息. 26(1): 32-36 (2013)
5. 佐々木信人, 細矢侑芳, 村田興則, 山内広平. シェーグレン症候群と肺病変. 呼吸. 32(7): 612-618 (2013)
6. 山下雅大, 山内広平. 主要疾患 病態・診断・治療アレルギー性肺疾患 過敏性肺炎. 医学のあゆみ. 別冊呼吸器疾患 ver.6: 242-244 (2013)
7. 山内広平. 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の診断と治療. 日本病院総合診療医学雑誌. 2(1):1-6 (2014)
8. 森川直人, 齋藤平佐. 肺大細胞神経内分泌癌. 呼吸. 33(3):284-287 (2014)

c) 症例報告

1. 小泉瑠美, 村田興則, 佐々木信人, 中村豊. 11. 東日本大地震後の津波溺水患者にみられたスケドスポリウム症. 連載目で見える真菌と真菌症(16). 化学療法の領域. 29(3):372-377 (2013)
2. 関村研之, 山内広平. 慢性咳嗽の原因として胸部大動脈瘤の関与が示唆された一例. International Review of Asthma & COPD. 15(1):29-31 (2013)
3. 佐々木信人, 村田興則, 及川侑芳, 小泉瑠美, 中村豊, 山内広平. Rituximabにより長期寛解が得られたステロイド抵抗性筋炎の一例. アレルギーの臨床. 33(10):945-949 (2013)
4. 齋藤小豊, 秋山真親, 星野健, 鈴木順, 山内広平, 高橋浩, 千葉俊美, 鈴木一幸. 遷延する強い腹痛が心身医学的アプローチにより改善した潰瘍性大腸炎の一例. 消化器心身医学. 20(1):45-48 (2013)
5. 中村豊, 村田興則. II 診療科・基礎疾患から見た大切な真菌症 11. 東日本大地震後の津波溺水患者にみられたスケドスポリウム症. 目で見える真菌と真菌症. 137-142 (2014)
6. 中村豊. 津波肺患者にみられたスケドスポリウム症. 呼吸器内科. 25(1):43-48 (2014)

d) その他

1. 中村豊. 呼吸器抄読会 岩手医科大学内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野. 呼吸. 32(5):491 (2013)
2. 野館敬直, 佐藤淳也, 佐藤沙希子, 菅澤佳奈, 松田ひとみ, 山内広平, 高橋勝雄, 工藤賢三. 呼吸器疾患における患者アドヒアランス向上に向けた研究調査(その1)薬剤師の吸入指導の実態調査. 医薬品相互作用研究. 37(1): 85-86 (2013)
3. 菅澤佳奈, 佐藤淳也, 佐藤沙希子, 野館敬直, 松田ひとみ, 山内広平, 高橋勝雄, 工藤賢三. 呼吸器疾患における患者アドヒアランス向上に向けた研究調査(その2)医師が薬剤師に期待する吸入指導の実態調査. 医薬品相互作用研究. 37(1):86 (2013)
4. 山内広平, 一ノ瀬正和, 棟方充, 山谷睦雄. マクロライドの役割を呼吸器感染症治療から紐解く(座談会). Progress in Medicine. 33(2):285-290 (2013)

② 著書

1. 中村豊. 薬剤アレルギー. 今日の治療指針2013. 727-728 (2013)
2. 中村豊. 呼吸リハビリテーションのための検査 気管支内

視鏡検査. 包括的呼吸リハビリテーションポケットマニュアル. 60-63 (2013)

③ 国際学会発表

a) 招聘講演等

1. Nakamura N.: Asthma and COPD. The 16th Annual Meakins-Christie International Workshop. 2014 March. Dubai.

b) 一般講演

1. Sasaki N, Murata O, Ninomiya Y, Hosoya Y, Suzuki N, Koizumi R, Nakamura Y, Kobayashi H, Yamauchi K, Sasaki M.: Detection of novel cerebral microvessel lesions in patients with neuropsychiatric systemic lupus erythematosus by 7Tesla MRI. European League Against Rheumatism. 2013 Jun. Barcelona.
2. Nakamura Y, Nagashima H, Utsumi Y, Morikawa N, Yamauchi K.: Potential of genetic variation of IL-13 as a predictive marker of airway remodeling in bronchial asthma. The 23rd congress of interasma Japan/North Asia. 2013 Jun. Tokyo.
3. Yamashita Y, Kowata K, Niisato M, Mouri T, Kobayashi H, Sugai T, Takahashi T, Yamauchi K.: High levels of vascular endothelial growth factor-C and D are associated with disease severity of hypersensitivity pneumonitis. European Respiratory Society Annual Congress. 2013 Sep. Barcelona.
4. Koizumi R, Ogasawara M, Sasaki N, Tanita T, Nakamura Y, Yamauchi K.: Involvement of asparatic acid racemization and isomerization in the pathogenesis of COPD. European Respiratory Society Annual Congress. 2013 Sep. Barcelona.
5. Moriguchi S, Utsumi Y, Miyamoto T, Sekimura K, Sasaki N, Yamashita Y, Nakamura Y, Kobayashi H, Yamauchi K.: Association of thymic stromal lymphopoietin gene polymorphisms with atopic status, pulmonary function and airway hyperresponsiveness in a Japanese adult asthmatic population. European Respiratory Society Annual Congress. 2013 Sep. Barcelona.
6. Sasaki N, Murata O, Ninomiya Y, Oikawa Y, Kobayashi H, Yamauchi K, Sasaki M, Sawai T, Nakamura Y.: Detection of cerebral microvascular lesions in patients with acute phase neuropsychiatric systemic

lupus erythematosus by 7Tesla MRI. ACR/ARHP Annual Meeting. 2013 Oct. San Diego.

7. Morikawa N, Tabata T, Tabayashi K, Nakamura Y, Yamauchi K.: Prognosis of cancer patients in the hospital damaged by the Japan earthquake and tsunami. The 18th Congress of the Asian Pacific Society of Respiratory. 2013 Nov. Yokohama.
8. Nakamura Y, Nakajima Y, Morikawa N, Sasaki N, Kowata K, Yamauchi K.: The role of tumor necrosis factor- α and interferon- γ in regulating angiotensin-like protein 1 expression in lung microvascular endothelial cells. The 18th Congress of the Asian Pacific Society of Respiratory. 2013 Nov. Yokohama.
9. Moriguchi S, Utsumi Y, Miyamoto T, Sekimura K, Sasaki N, Yamashita Y, Nakamura Y, Kobayashi H, Yamauchi K.: Study on the association of TSLP gene polymorphisms with atopic status, pulmonary function and airway hyperresponsiveness in Japanese asthmatics. The 18th Congress of the Asian Pacific Society of Respiratory. 2013 Nov. Yokohama.
10. Koizumi R, Sasaki N, Nakamura Y, Murata O, Oikawa Y, Kobayashi H, Yamauchi K.: Effects of rapamycin on pulmonary vascular remodeling of allergic vasculitis in murine model. The 18th Congress of the Asian Pacific Society of Respiratory. 2013 Nov. Yokohama.

c) その他

④-1 国内学会発表 (全国)

a) 招聘講演等

1. 山内広平. 東日本大震災から学ぶ内科疾患～特徴、対応、予防～呼吸器疾患. 日本内科学会学術集会 第41回内科学の展望. 2013年12月. 仙台.

b) 一般講演

1. 山下雅大, 古和田浩子, 小林仁, 山内広平: 肺サルコイドーシスの病態形成におけるリンパ管新生の関与. 第110回日本内科学会講演会. 2013年4月. 東京.
2. 村田興則, 佐々木信人, 小泉瑠美, 細矢侑芳, 古和田浩子, 二宮由香里, 小林仁, 山内広平: 7Tesla MRIによるNP SLE脳微小血管病変の検出. 第57回日本リウマチ学会総会・学術集会. 2013年4月. 京都市.

3. 古和田浩子, 山下雅大, 毛利孝, 二宮由香里, 小林仁, 山内広平: 肺外病変を有するサルコイドーシス患者における血管新生因子の検討. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会. 2013 年 4 月. 東京.
 4. 関村研之, 似内郊雄, 山内広平, 菅井有, 福田悠, 谷田達男, 別府高明: 頭部腫瘍を伴ったランゲルハンス細胞組織球症の一例. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会. 2013 年 4 月. 東京.
 5. 中島義雄, 中村豊, 長島広相, 佐々木信人, 山内広平: 肺の気腫化における炎症性メディエーターと Angiotensin-like protein 1 の役割. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会. 2013 年 4 月. 東京.
 6. 小笠原正人, 谷田達男, 山内広平: COPD 患者由来肺組織のタンパク質アスパラギン酸異性体化の役割. 第 53 回日本呼吸器学会学術講演会. 2013 年 4 月. 東京.
 7. 小西康弘, 石田和之, 無江良晴, 鈴木正通, 上杉憲幸, 関村研之, 中村豊, 山内広平, 菅井有. Hermansky-Pudlak 症候群の一部剖検. 第 102 回日本病理学会総会. 2013 年 6 月. 札幌.
 8. 齋藤平佐, 森川直人, 守口知, 鈴木奈緒美, 長島広相, 関村研之, 中村豊, 山内広平. 当院における nab-Paclitaxel/Carboplatin 療法の検討. 第 54 回日本肺癌学会総会. 2013 年 11 月. 東京.
 9. 守口知, 森川直人, 鈴木奈緒美, 齋藤平佐, 長島広相, 関村研之, 中村豊, 山内広平, 出口博之, 友安信, 谷田達男. Crizotinib 耐性化に伴って扁平上皮癌に transformation した ALK 陽性肺腺癌. 第 54 回日本肺癌学会総会. 2013 年 11 月. 東京.
 10. 中村豊, 長島広相, 佐々木信人, 古和田浩子, Qutayba Hamid, 小林仁, 山内広平. 喘息気道リモデリング進展に関するゲノムバイオマーカーとしての IL-13 遺伝子多型. 第 63 回日本アレルギー学会秋季学術大会. 2013 年 11 月. 東京.
- c) その他
1. 長島広相, 山内広平. 岩手における在宅酸素療法患者の震災被害状況. 厚生労働科学研究(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究)推進事業発表会 東日本大震災と循環器・呼吸器疾患. 2014 年 1 月. 東京.
- ④-2 国内学会発表 (地方会関係)
- a) 招聘講演等
 - b) 一般講演
 1. 関村研之, 守口知, 丹田実, 鈴木奈緒美, 宮本孝行, 佐々木信人, 中村豊, 小林仁, 山内広平. 咳喘息の治療が有効でなかった慢性咳嗽の 1 例. 第 198 回日本内科学会東北地方会. 2013 年 2 月. 仙台.
 2. 鈴木順, 秋山真親, 齋藤小豊, 山内広平. 複雑性悲嘆に関する考察～東日本大震災に被災した症例を通して～. 第 76 回日本心身医学会東北地方会. 2013 年 2 月. 仙台.
 3. 鈴木順, 秋山真親, 齋藤小豊, 星野健, 山内広平, 佐々木誠, 山口昌樹. 医学部学生における過敏性腸症候群の有病率に関する検討. 第 76 回日本心身医学会東北地方会. 2013 年 2 月. 仙台.
 4. 星野健, 秋山真親, 齋藤小豊, 鈴木順, 山内広平. 農業への従事が転機となり症状改善がみられた機能性消化管障害を併発したうつ病の 1 症例. 第 76 回日本心身医学会東北地方会. 2013 年 2 月. 仙台.
 5. 内海裕, 宮本孝行, 関村研之, 佐々木信人, 鈴木奈緒美, 長島広相, 中村豊, 小林仁, 山内広平. 気管支喘息患者の気道過敏症に対する IL-13 遺伝子多型の影響. 第 96 回日本呼吸器学会東北地方会. 2013 年 3 月. 秋田.
 6. 小泉瑠美, 中島義雄, 村田興則, 内海裕, 長島広相, 佐々木信人, 中村豊, 山内広平. ペニシリン耐性肺炎球菌性肺炎により人工呼吸器管理となった気管支喘息重積発作 1 例. 第 96 回日本呼吸器学会東北地方会. 2013 年 3 月. 秋田.
 7. 守口知, 鈴木奈緒美, 丹田実, 宮本孝行, 関村研之, 中村豊, 山内広平, 出口博之, 友安信, 谷田達男. 心膜検体から診断された EML4-ALK 陽性肺線癌の 1 例. 第 96 回日本呼吸器学会東北地方会. 2013 年 3 月. 秋田.
 8. 水澤雄太, 小高英達, 守田亮, 吉川晴夫, 北原栄, 黒川博一, 伊藤宏, 田中裕士, 山下雅大, 山内広平. マイタケ栽培業者に発症した過敏性肺炎の一例. 第 96 回日本呼吸器学会東北地方会. 2013 年 3 月. 秋田.
 9. 村田興則, 佐々木信人, 長島広相, 内海裕, 中島義雄, 小泉瑠美, 小林仁, 山内広平. 抗 IL-6 受容体抗体が有効であった治療抵抗性大動脈炎症候群の 1 例. 第 199 回日本内科学会東北地方会. 2013 年 6 月. 仙台.
 10. 森川直人, 関村研之, 長島広相, 齋藤平佐, 村田興則, 守口知, 鈴木奈緒美, 宮本孝行, 中村豊, 山内広平. 当院における Carboplatin+nab-Paclitaxel 療法の検討. 第 52 回日本肺癌学会東北支部会. 2013 年 7 月. 奥州.
 11. 村田興則, 佐々木信人, 長島広相, 内海裕, 中島義雄,

- 小泉瑠美, 小林仁, 山内広平. Infliximab が有効であった治療抵抗性腸管 Behcet 病の 1 例. 第 200 回日本内科学会東北地方会. 2013 年 8 月. 青森.
12. 関村研之, 鈴木利央登, 守口知, 丹田実, 秋山真親, 宮本孝行, 中村豊, 小林仁, 山内広平. 免疫組織化学により診断された原発性肺癌臓転移の 1 例. 第 97 回日本呼吸器学会東北地方会. 2013 年 8 月. 青森.
 13. 小林仁. 呼吸器疾患を有する RA 患者の治療方針. 第 23 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会. 2013 年 11 月. 仙台.
 14. 村田興則, 佐々木信人, 小泉瑠美, 及川侑芳, 古和田浩子, 二宮由香里, 小林仁, 山内広平. Infliximab が奏功した掌蹠膿疱症性骨関節炎の一例. 第 23 回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会. 2013 年 11 月. 仙台.
 15. 鈴木利央登, 関村研之, 丹田実, 秋山真親, 森川直人, 宮本孝行, 中村豊, 小林仁, 山内広平: 誤嚥性肺炎の呼吸管理にネーザルハイフロー導入が有用であった 1 例. 第 201 回日本内科学会東北地方会. 2014 年 2 月. 仙台.
 16. 長島広相, 中村豊, 山内広平: 岩手県津波被災地における在宅酸素患者の事態調査. 第 98 回日本呼吸器学会東北地方会. 2014 年 3 月. 仙台.
 17. 関村研之, 鈴木利央登, 守口知, 丹田実, 秋山真親, 宮本孝行, 森川直人, 中村豊, 小林仁, 山内広平: 慢性咳嗽として加療されていた上気道狭窄の 3 症例. 第 98 回日本呼吸器学会東北地方会. 2014 年 3 月. 仙台.
 18. 古和田浩子, 長島広相, 中村豊, 小林仁, 出口博之, 谷田達男, 山内広平: PET 検診でみつかった気管腫瘍の一例. 第 98 回日本呼吸器学会東北地方会. 2014 年 3 月. 仙台.
 19. 千葉亮祐, 鈴木奈緒美, 佐々島朋美, 宇部健治, 守義明, 武内健一, 佐熊勉: ARDS を呈し両側気胸を合併した粟粒結核の 1 剖検例. 第 98 回日本呼吸器学会東北地方会. 2014 年 3 月. 仙台.
- c) その他
1. 山内広平. 気管支喘息の炎症病態と関連遺伝子. 第 8 回東京吸入療法セミナー. 2013 年 2 月. 東京.
 2. 山内広平. 新しいガイドラインから見た気管支喘息の予防と疫学. Scientific Exchange Meeting in Sendai. 2013 年 2 月. 仙台.
 3. 関村研之, 似内郊雄, 丹田実, 鈴木奈緒美, 守口知, 宮本孝行, 佐々木信人, 中村豊, 小林仁, 山内広平, 菅井有, 谷田達男, 別府高明, 福田悠. 頭部腫瘍を伴った Langerhans cell histiocytosis の一例. 第 25 回岩手びまん性肺疾患研究会. 2013 年 2 月. 盛岡.
 4. 武内健一, 佐々島朋美, 齋藤平佐, 千葉亮祐, 宇部健治, 守義明. 21 世紀の新疾患 IgG4 関連疾患の 1 例—7 年越しの確定診断—. 第 25 回岩手びまん性肺疾患研究会. 2013 年 2 月. 盛岡.
 5. 山内広平. 気管支喘息の新しい吸入療法. 気管支喘息疾患治療セミナー. 2013 年 3 月. 大館.
 6. 山内広平. 管理目標を見据えた COPD 治療. The COPD Solution—今と未来のトータルマネジメント—. 2013 年 3 月. 大崎.
 7. 中村豊. 東日本大震災後の津波溺水患者に見られたスクロスポリウム症. 札幌呼吸器・アレルギーフォーラム. 2013 年 3 月. 札幌.
 8. 佐々木信人. 膠原病類縁疾患とリウマチ性多発筋痛症について. 北秋田学術講演会. 2013 年 3 月. 北秋田.
 9. 関村研之, 守口知, 丹田実, 鈴木奈緒美, 宮本孝行, 佐々木信人, 中村豊, 小林仁, 山内広平. 咳喘息の治療が有効でなかった慢性咳嗽の 1 例. 第 106 回岩手肺疾患研究会. 2013 年 3 月. 盛岡.
 10. 長島広相, 齋藤平佐. パネルディスカッション 実臨床におけるイレッサの現状と課題について. 第 12 回岩手肺癌分子標的フォーラム. 2013 年 3 月. 盛岡.
 11. 山内広平. 気管支喘息と COPD における吸入ステロイド療法について—外来での軽症から重症の治療ポイント—. 盛南地区講演会. 2013 年 4 月. 盛岡.
 12. 山内広平. 気管支喘息の新しい吸入療法—最近の話題—. 第 1 回釜石医師会学術講演会. 2013 年 4 月. 釜石.
 13. 山内広平. 気管支喘息における個別化医療. 第 9 回岐阜臨床呼吸器セミナー. 2013 年 4 月. 岐阜.
 14. 中村豊, 中島義雄, 山内広平. 肺微小血管内皮細胞上に発現する angiotensin-like protein 1 に対する TNF- α と IFN- γ の役割について. 第 32 回気道分泌研究会. 2013 年 4 月. 盛岡.
 15. 丹田実. 集中治療を要した呼吸器疾患でのシベレスタットナトリウムの使用経験. エラスポール発売 10 周年記念講演会 in 岩手. 2013 年 4 月. 盛岡.
 16. 山内広平. 被災地より学ぶ呼吸器疾患管理の課題と今後. 第 15 回名古屋呼吸器研究会. 2013 年 5 月. 名古屋.
 17. 山内広平. パネルディスカッション 震災時における喘息・COPD の疾患管理について. 第 15 回名古屋呼吸器研究会. 2013 年 5 月. 名古屋.

18. 山内広平. 気管支喘息の炎症病態とステロイド吸入療法. アレルギー・好酸球研究会 2013. 2013年6月. 東京.
19. 山内広平. 気管支喘息の病態とステロイド吸入療法. 第10回熊本喘息・咳嗽研究会. 2013年6月. 熊本.
20. 山内広平. 気管支喘息における吸入療法. 岩手県病院薬剤師会定例学習会. 2013年6月. 盛岡.
21. 長島広相, 守口知, 齋藤平佐, 森川直人, 関村研之, 中村豊, 山内広平. 当科におけるエルロチニブの使いどころ. 第31回岩手肺癌懇話会. 2013年6月. 盛岡.
22. 秋山真親, 守口知, 長島広相, 中村豊, 山内広平. 東日本大震災時の県内被災地における呼吸器疾患の現状. 第21回岩手県呼吸不全研究会. 2013年6月. 盛岡.
23. 山内広平. 喘息治療におけるステロイド療法の有用性. 二戸地区呼吸器領域医療連携フォーラム. 2013年7月. 二戸.
24. 中村豊, 内海裕, 長島広相, 齋藤平佐, 森川直人, 佐々木信人, 小林仁, 山内広平. 気管支喘息患者の気道リモデリングに果たすIL-13遺伝子多型の役割. 第47回東北アレルギー懇話会. 2013年7月. 福島.
25. 森川直人, 守口知, 鈴木奈緒美, 丹田実, 齋藤平佐, 宮本孝行, 関村研之, 中村豊, 山内広平, 出口博之, 友安信, 谷田達男, 無江良晴, 菅井有. Crizotinib投与後に扁平上皮癌へのTransformationを生じたALK陽性肺腺癌の1例. 肺癌治療講演会. 2013年7月. 盛岡.
26. 森川直人, 中村豊, 山内広平. ASCO2013肺癌領域のトピックス. 腫瘍センター第2回化学療法セミナー. 2013年7月. 盛岡.
27. 森川直人, 中村豊, 山内広平. 肺癌診療と地域連携. 盛南臨床カンファレンス. 2013年7月. 盛岡.
28. 長島広相. 医療関係者は要注意 あなたのすぐそばにいます“結核”. 岩手医科大学第177回GRAND ROUND. 2013年7月. 盛岡.
29. 秋山真親. 二戸地区での呼吸器関連医療連携症例. 二戸地区呼吸器領域医療連携フォーラム. 2013年7月. 二戸.
30. 中村豊. COPDってどんな病気?. 平成25年肺の日市民公開講座. 2013年8月. 盛岡.
31. 森川直人. 「進んだ肺癌」と診断されたら. 平成25年肺の日市民公開講座. 2013年8月. 盛岡.
32. 森川直人, 中村豊, 山内広平. 日本肺癌学会肺癌診療ガイドラインの変更点. 第3回盛岡肺癌カンファレンス. 2013年8月. 盛岡.
33. 山内広平. 気管支喘息の病態と治療 最近の話題. 千葉県喘息吸入療法研究会第12回講演会. 2013年9月. 千葉.
34. 山内広平. 高齢者喘息(COPDを含めて). Asthma Expert Forum 2013. 2013年9月. 東京.
35. 鈴木順. COPDと不安・抑うつ. オーキシス発売1周年記念講演会. 2013年9月. 仙台.
36. 森川直人. 肺がんの骨転移. 岩手 Bone Management セミナー. 2013年9月. 盛岡.
37. 森川直人, 中村豊, 山内広平. エルロチニブが安全に投与できた. 肝機能低下を伴うEGFR遺伝子変異陽性肺癌の1例. 2013年9月. 盛岡.
38. 長島広相. 症例検討(症例提示). 第9回岩手肺癌カンファレンス. 2013年9月. 盛岡.
39. 長島広相. 東日本大震災時の在宅酸素療法. 第2回いわて在宅酸素・呼吸器患者の会. 2013年9月. 盛岡.
40. 村田興則. 治療に難渋しているMCTDに伴う肺高血圧症の長期生存の1例. 岩手CTD-PAH症例検討会. 2013年9月. 盛岡.
41. 樋口慧, 佐々島朋美, 千葉亮祐, 鈴木奈緒美, 宇部健治, 守義明, 武内健一, 八重樫弘, 富地信和. 診断までに約5年を要した肺病変先行型関節リウマチの1例. 第26回岩手びまん性肺疾患研究会. 2013年9月. 盛岡.
42. 山内広平. 新ガイドラインにおけるCOPDの実地診療. 第104回大曲仙北医師会学術講演会. 2013年10月. 仙北.
43. 小林仁. 膠原病疾患について. 帝人ファーマ(株)仙台支店社内講演会. 2013年10月. 仙台.
44. 森川直人. 大きく変わる肺癌診療と地域連携の役割. 盛岡市医師会内科医会(廿日会)例会特別講演会. 2013年10月. 盛岡.
45. 森川直人, 中村豊, 山内広平. 肺癌化学療法の最新情報. 東北大学病院がんセミナー. 2013年10月. 仙台.
46. 守口知, 森川直人, 中村豊, 山内広平. 治療に難渋したNSCLCの一例. 第5回盛岡肺癌カンファレンス. 2013年10月. 盛岡.
47. 山内広平. 気管支喘息の気道病態と治療—東日本大震災時の呼吸器障害も含めて—. 第72回臨床アレルギー研究会. 2013年11月. 東京.
48. 山内広平. 気管支喘息の病態と治療—新しいステロイド吸入療法について—. 栗原市医師会学術講演会. 2013年11月. 栗原.
49. 森川直人. 医師・スタッフ・患者が、すこしずつ幸せになるシスプラチンのショートハイドレーション. リリーインターネット講演会. 2013年11月. 盛岡.

50. 森川直人, 守口知, 鈴木奈緒美, 丹田実, 齋藤平佐, 宮本孝行, 関村研之, 中村豊, 山内広平, 出口博之, 友安信, 谷田達男, 無江良晴, 菅井有. Crizotinib 投与後に扁平上皮癌への Transformation を生じた ALK 陽性肺腺癌の 1 例. 第 107 回岩手肺疾患研究会. 2013 年 11 月. 盛岡.
51. 森川直人, 中村豊, 山内広平. 進展型小細胞肺癌に対するカルボプラチン、イリノテカン、併用療法とカルボプラチン、アムルピシン併用療法の無作為化第Ⅱ相比較試験(NJLCG0901). 北日本肺癌臨床研究会. 2013 年 11 月. 仙台.
52. 森川直人, 中村豊, 山内広平. これからの Afatinib の話をしよう. 第 6 回盛岡肺癌カンファレンス. 2013 年 11 月. 盛岡.
53. 長島広相. インフルエンザの日常診療. 第 1 回北上医師会感染症危機管理講演会. 2013 年 11 月. 北上.
54. 長島広相, 齋藤平佐. グループディスカッションパネリスト. AstraZeneca Scientific Exchange Meeting in Tohoku. 2013 年 11 月. 仙台.
55. 村田興則, 二宮由香里, 中村豊, 小林仁, 山内広平. 7Tesla MRI による NPSLE 早期脳微小血管病変の検出. 第 20 回岩手県自己免疫疾患研究会. 2013 年 11 月. 盛岡.
56. 山内広平. 新しいガイドラインに基づいた COPD 治療. 第 14 回島根慢性閉塞性肺疾患研究会. 2013 年 12 月. 松江.
57. 中村豊. 実地医家の COPD 治療. COPD Inter active Meeting COPD Forum. 2013 年 12 月. 盛岡.
58. 山内広平. 新ガイドラインにおける COPD 実地診療. 第 529 回北上医師会医学集談会. 2014 年 1 月. 北上.
59. 中村豊. COPD 治療. 平成 25 年度花巻市医師会生涯教育講座 1 月例会. 2014 年 1 月. 花巻.
60. 齋藤平佐, 森川直人, 守口知, 長島広相, 中村豊, 山内広平. 当院における nab- paclitaxel/carboplatin 療法の検討. 第 30 回東北肺癌研究談話会. 2014 年 2 月. 仙台.
61. 山内広平. 新ガイドラインにおける COPD 実地診療. COPD 治療の新たな幕開け. 2014 年 3 月. 宮古.
62. 長島広相, 中村豊, 山内広平. 岩手県における大津波時の在宅酸素療法実態調査. 第 27 回東北呼吸ケアフォーラム. 2014 年 3 月. 仙台.

⑤-1 国際学会主催

⑤-2 国内学会主催